

## 平成29年9月期事業計画書

対象期間：平成28年10月1日から平成29年9月30日まで

株式を保有している団体の配当予定は現状維持となっていることから、当該事業年度も従来どおりの活動を行っていく。事業活動としては研究助成事業等とのバランスを考慮しつつ、当財団が重点課題として位置づけている「科学教育の普及・啓発助成」に注力することで、引き続き理科好きな青少年の育成を図っていく。なお、当財団は平成29年5月29日に設立30周年を迎えることから当事業年度の表彰・贈呈式に合わせて30年史の編纂と記念講演を企画する。

### 1. 助成&表彰事業

#### (1) 第31回研究費の助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的独創的にして、わが国の科学技術の振興に貢献することが充分期待され得るもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による。

#### (2) 第39回国際交流助成事業

- (i) 助成対象：化学の領域において、次の国際研究交流に貢献することが期待されるもの。
  - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められ招聘される者。ただし、国公費による出張者を除く。
  - ② 国内で行われる国際研究集会。
  - ③ 国外で行われる国際研究集会。
- (ii) 助成金額：
  - ① の場合：1件30万円（渡航運賃）までを限度とする。
  - ② の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費）までを限度とする。
  - ③ の場合：1件50万円（滞在費、印刷費、招聘費）までを限度とする。
- (iii) 推薦：「研究費の助成」の場合と同じ。

#### (3) 第31回研究交流促進助成事業

- (i) 助成対象：産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの。
- (ii) 助成金額：1件100万円（会議開催費、講師招聘費用等）までを限度とする。
- (iii) 募集：原則公募による。

(4) 科学教育の普及・啓発助成事業

I. 科学教育の普及・啓発活動支援のための活動費支援（第12回）

(i) 助成対象：科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学教育の普及・啓発が期待されるもの。

(ii) 助成金額：1件原則30万円（会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等）とする。継続助成は原則3年。

(iii) 募集：原則公募による。

II. 科学教育の普及・啓発活動支援のための活動成果をまとめた書籍刊行支援

III. 科学教育の普及・啓発活動支援のための公的施設への推薦図書支援

(5) 表彰事業

I. 第28回向井賞の表彰事業

(i) 表彰対象 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績。

(ii) 表彰内容 1件：賞状ならびに賞牌、副賞（100万円）。

(iii) 推薦 本財団役員及び評議員、または、この法人で適当と認めたものによる。

II. 第26回向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的とし、向井賞受賞者の講演を中心に前年研究助成対象者の成果発表の講演会を開催。

3. 事業運営のため、次の各種集会を行う。

(1) 理事会 4回【11月、12月、3月、9月】

(2) 評議員会 3回【12月（定時）、3月、9月】

(3) 選考委員会（2月）

(4) 企画・運営会議 随時

(5) 表彰・贈呈式 1回（5月29日・川崎）

(6) 記念科学講演会 1回（5月29日・川崎）

以上